



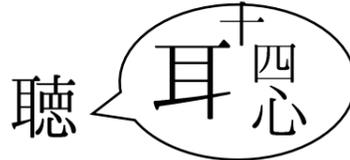
平成30年度傾聴ボランティア養成講座

始まりました

【前期：高松会場】 第1日目5月8日（火）10時～12時・第2日目5月15日（火）10時～12時 県社会福祉総合センター7階第2中会議室

第1日目

講師：青井 恵子 氏（グリーンワークかがわ）



傾聴とは、自分の訊きたいことを訊くのではなく、相手が話したいことをそのまま受け止めながら聴くという心がまえから始まり、聴くという漢字が14の心を持ち、耳で聴くという成り立ちから、傾聴活動がいに心に寄りそうものかを理解しました。親切心からアドバイスや意見を言ってしまうと、相手が話せなくなる状況を作ってしまう、また違う意見を話されると、自分自身を否定された気持ちになり、会話の間口が閉じてしまいます。

センタリングやペーシングという心身の統一や相手との呼吸合わせの方法を学び、実際にロールプレイの中で、言葉かけではなく、表情、姿勢、態度、うなずきの大切さを学ぶことができました。

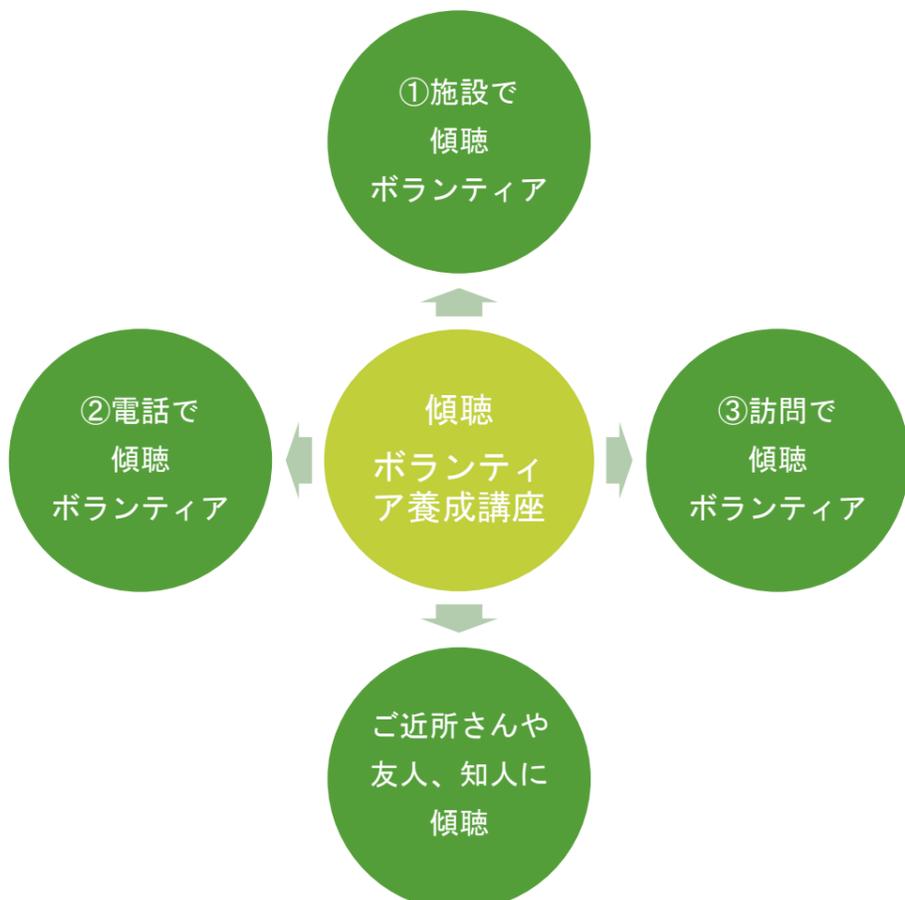
第2日目 講師：山本 隆夫 氏（さぬき傾聴ボランティアグループ「陽」）

15年以上の傾聴活動の経験を持つ講師から傾聴を始めたきっかけ、自身が受講した傾聴講座受講生の熱意、受講後のグループ作りから現在の活動について伺い、1日目で学んだことの振り返りを行いました。傾聴で大切な笑顔・うなずき、あいづち、最後の言葉の繰り返しの思い出し、2人1組でロールプレイを行いました。

傾聴のポイントが含まれた会話は長続きできるが、拒否や否定的な態度をされると、関係がどんどん悪化していくようでした。最後は、講座で学んだことを活かした楽しい会話で、人は話すことが楽しみやリフレッシュに繋がることを実感しました。第3日目は、施設交流にのぞみます。



傾聴ボランティア養成講座活用方法について



講座修了後、活動をお考えの方へ

- まずは
- 相談 いきいき案内所に電話もしくは来所
 - ↓
 - 打ち合わせ 希望施設もしくは、活動決定※面接等
 - ↓
 - 活動
- ①施設で傾聴
 養成講座交流施設及び高齢者いきいき案内所「登録の場」、近隣の施設等で活動を希望される方にご紹介いたします。
- ②電話で傾聴
 ご自身の固定電話及び携帯電話を使用して、傾聴やお話し相手の活動を行います。
 ※電話を掛ける際には、非通知で表示されるようにかけていただきます。
- ③訪問で傾聴
 ご家族及びケアマネジャー等相談機関からの依頼で、訪問が必要な場合、2人1組や、ヘルパー訪問時に活動するなどを検討し、活動していただきます。

いまずぐ活動は難しいとお考えの方へ

学んだことを普段の会話に取り入れて、傾聴を日常の中に、実践できる活動者となっていきたいと思ひます。



